



生駒市立上中学校

校長室だより

第 8 号

令和 5 年 12 月 1 日
上中学校 TEL. 78-4140



ちがうことばんざい

まきぐち いちじ
牧ロー二

私たちの周りには いろんな人がいる
男の人 女の人
背の高い人 低い人
遊びの得意な人 苦手な人
声を出して話す人 声を出さずに話す人
松葉づえをついた人 車いすに乗った人
みんな みんな いっしょ
それぞれ ちがった生きかたをしている

みんな顔が同じなら
することも同じなら
ちっともおもしろくない

君の代わりは だれもない
ぼくの代わりも だれもない
みんなちがうから
ひとりひとり大切な人間なんだ
じぶんも人も 大切な人間なんだ

世の中には
いろんな人がいて
いろんな考えがあるってことを
それぞれ
特徴をもった生き方があるってことを
ひとつひとつしていきながら
人間はおおきくなっていくんだ
そして 深くなっていくんだ
みんな ちがうから すばらしいんだ

第75回人権週間 12月4日～10日

12月10日は人権デーです。

「誰か」のことじゃない

「え？目玉焼きにはマヨネーズが『普通』でしょ」

「え？醤油でしょ」

「普通におもしろい」

「え？何がおもしろいの？」

...

「そんなん普通やん」「それって常識」…のように「普通」とか「常識」といった言葉は私たち日常生活では、驚くほど『普通』によく使っていると思うのですが、どうでしょう。

私たちは色々なことに「そんなの当然」とか「それって当たり前」って決めつけていることや、また知らず知らずのうちに自分の物差しで他人を測り、こうあるべきだと押し付けてしまっていることもあるのではないのでしょうか。

自分の「普通」は誰かにとっては「普通」でないかもしれない。

「そんなの普通でしょう」と言われてあなたのまわりに困っている人もいます。同じようにしたくても、多くの人ができるやり方ではすることが難しい人もいます。一人一人の違いは特性であり、個性でもあります。

障害がある、ないにかかわらず、女の人男の人、お年寄りも若い人もすべての人が互いの人権や尊厳を大切に、支えあい、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会、これを共生社会といいます。今の世の中は、この共生社会をつくることが求められています。

私たちの学校も、ひとりひとりの個性が尊重されること、ひとりひとりの違いに合わせて助けが必要なのはみんなで支えあいながら、誰もが同じようにいきいきと活動できる学校でありたいと思います。

そんな学校を共に創っていきましょう。